

2023 年 2 月号 (321 号)



COP15 で愛知県及び国際先進広域自治体連合 (GoLS) の取組を発信しました (P2)



あいち地球温暖化対策フォーラムを開催しました (P3)



あいち森と緑づくり環境活動・学習推進事業の企画提案を募集しています (P5)



2022 年度水質パトロール隊の優秀グループが決定しました (P6)



愛知県は「SDGs 未来都市」として、SDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けた取組を推進しています。

「環境かわら版」
Web ページは
こちらから→
今月号とバックナンバーを掲載しています。



COP15 で愛知県及び国際先進広域自治体連合 (GoLS) の取組を発信しました



昨年 12 月 7 日から 12 月 19 日まで、国連生物多様性条約第 15 回締約国会議 (COP15) がカナダ・モントリオール市で開催されました。本会議では、30by30 目標などを含む「昆明・モントリオール生物多様性枠組」が、「愛知目標」に次ぐ 2030 年までの新たな世界目標として採択されるなど、今後の生物多様性保全の推進に向け、大きな節目となりました。

愛知県は、2016 年に世界の先進的な広域自治体とともに「愛知目標達成に向けた国際先進広域自治体連合 (GoLS)」を設立しました。これまで、メンバーや支援組織とともに、先駆的取組に関する知識・経験の共有のほか、COP や補助機関会合等の機会を通じて、生物多様性の主流化や地方自治体を含む多様な主体の連携の重要性について働きかけを行ってきました。

今回の COP15 には、県からも職員が参加し、県及び GoLS の取組発信などを行いました。

1 第 7 回生物多様性国際自治体会議への参加

COP の併催会議である、第 7 回生物多様性国際自治体会議の「影響」をテーマとするセッション（締約国・地方政府・国際機関等の約 300 人が参加）において、大村知事からのビデオメッセージを発信し、今後も GoLS メンバーや関係国際機関等と連携し、国際的なプラットフォームを活用しながら、新たな世界目標達成に向けても率先して「行動」していく旨を表明しました。

また、本県及び GoLS が新たな国際プラットフォーム「Regions With Nature」へ参加したことを受け、認証書が授与されました。



認証書の授与

2 GoLS ミーティングの開催

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、オンラインで GoLS の活動を継続していましたが、今回、4 年ぶりとなる対面でのミーティングを実施し、新たな世界目標の達成に向けた声明をとりまとめ、今後も連携を強化していく決意を共有しました。



GoLS メンバーとの意見交換

3 本県の取組の発信や他自治体との意見交換

サイドイベントなどにおいて、4 月に県が創設した「あいち生物多様性企業認証制度」や次世代を担うユースの活動への支援、生態系ネットワーク協議会の活動等についてアピールしました。また、世界の自治体・国際機関関係者との面談では、新枠組の下での自治体の関わり方などについて、意見交換を行いました。



「あいち生物多様性企業認証」に関する事例発表

県及び GoLS は、新たな世界目標の達成に向けて、具体的な「行動」を一層進めていきます。

自然環境課 国際連携・生態系グループ
電話 052-954-6229 (ダイヤルイン)

あいち地球温暖化対策フォーラムを開催しました



愛知県では、昨年12月22日に愛知芸術文化センター（名古屋市東区）で「あいち地球温暖化対策フォーラム」を開催しました。会場・オンライン合わせて約340名の方にご参加いただきました。

1 認定証授与

エコカーの導入など、自動車環境の改善に積極的に取り組む「自動車エコ事業所」の方々や、CO₂の排出抑制に意欲的に取り組む旨を「あいちCO₂削減マニフェスト2030」として宣言していただいた事業者の方々に、大村知事から認定証が授与されました。



認定証授与式

2 基調講演

上智大学名誉教授の上妻義直さんから、「カーボンニュートラルへ向かう企業の気候リスク」と題して、欧米の情報開示に関する法律・規制に対応していくことの必要性などについてご講演いただきました。



基調講演の様子（講師：上妻 義直さん）

3 事例発表

愛三工業(株)カーボンニュートラル推進本部本部長の山家吉智さんから、「ものづくり技術によるカーボンニュートラル経営への転換」と題して、得

意先・仕入先とも協力したカーボンニュートラルへの取組について、また、(株)ウェストボックス代表取締役社長の鈴木修一郎さんから、「カーボンニュートラルの最新動向について」と題して、加速する脱炭素化の流れの中で企業に求められる情報開示などについて、それぞれ発表していただきました。



事例発表の様子

山家 吉智 さん（左）、鈴木 修一郎 さん（右）

4 トークセッション

気象予報士でフリーアナウンサーの早川敦子さんと講演・事例発表の講師3名により、「脱炭素社会に求められる企業経営」、をテーマにトークセッションを行いました。この中では、「カーボンニュートラルをビジネスチャンスと捉えるべき」、「日本の企業、特に製造業の莫大なノウハウを活かして、脱炭素社会に向けて、製品で貢献して欲しい」などの呼びかけがありました。



トークセッションの様子

5 その他

今後も、県民及び事業者の皆さんの意識の向上や行動の変革を促す取り組みを推進していきます。

地球温暖化対策課 調整・企画グループ
電話 052-954-6213（ダイヤルイン）

「第56回全国野生生物保護活動発表大会」において 愛知県から参加した学校が優秀な成績を収めました



環境省及び(公財)日本鳥類保護連盟は、全国の学校の児童・生徒が行っている野生生物保護活動に関する情報を共有し、活動の底上げ及び次世代の自然保護活動を担う人材を育成するため、「全国野生生物保護活動発表大会」*を1966年から開催しています。

* 2019年度大会までは、「全国野生生物保護実績発表大会」

第56回となる2022年度大会では、全国の小学校・中学校・高等学校(13校)から応募のあった活動紹介の動画及び写真をもとに審査が行われ、岡崎市立河合中学校が最高賞である環境大臣賞を、愛知県立明和高等学校が文部科学大臣賞を、豊田市立滝脇小学校が林野庁長官賞をそれぞれ受賞しました。

昨年12月27日にこれら3校の児童・生徒が知事を表敬訪問し、日頃の活動等について報告しました。



表敬訪問の様子
(県庁本庁舎正庁)

【河合中学校の活動の概要】

・活動のタイトル

「河合の宝 ゲンジボタル」

・活動の内容

地域におけるゲンジボタルの繁殖に寄与することを目指し、学術論文や地域の有識者の助言等を参考として、餌の研究等の工夫を加えて幼虫を飼育し、水路に放流しました。

また、広報誌の発行など普及・啓発にも取り組みました。



ゲンジボタルの
飼育の様子
(河合中学校)

【明和高等学校の活動の概要】

・活動のタイトル

「名古屋城にタヌキが！」

明和高校周辺のタヌキ調査」

・活動の内容

市街地に生息するタヌキの生態について、排泄物に含まれる種子等や定点カメラによる画像解析を用いて調査しました。排泄物には種子や昆虫片のほか人間の生活ごみも含まれていることや、季節や時間帯ごとに一定の行動パターンがあることが確認できました。



フィールド
調査の様子
(明和高等学校)

【滝脇小学校の活動の概要】

・活動のタイトル

「私たちの愛鳥活動」

・活動の内容

小学校6年間を通して「知る」「守る」「広げる」愛鳥活動を実践することで、野鳥との共生に努めています。愛鳥活動の一環として行われる営巣調査では各年の営巣成功率を比較し、へび等の天敵から巣を守る方法について検討しました。



野鳥を知る
活動の様子
(滝脇小学校)

詳細はWebページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/press-release/r4zenkokuyaseihyoukei.html>)



〔自然環境課 生物多様性保全グループ
電話 052-954-6475 (ダイヤルイン)〕

あいち森と緑づくり環境活動・学習推進事業の 企画提案を募集しています



愛知県では、NPO やボランティア団体など多様な主体が行う自発的な森と緑の保全活動や環境学習の取組を促進するため、「あいち森と緑づくり税」を活用して、「あいち森と緑づくり環境活動・学習推進事業交付金」による支援を行っています。

現在、2023 年度に実施する企画提案を募集していますので、是非ご応募ください。

1 対象とする団体

NPO、ボランティア団体、農協、漁協、森林組合、自治会、私立学校、市町村等（県内に活動の拠点を置く、5 名以上の団体）

2 募集期限

3 月 1 日（水）（必着）

3 提出書類及び部数

「あいち森と緑づくり環境活動・学習推進事業実施計画書」3 部。様式は、Web ページからダウンロード

できます。

4 提出先

主な事業実施場所を所管する東三河総局（新城設楽振興事務所を含む）又は県民事務所の環境保全課（名古屋市内は県庁の環境活動推進課）



活動の様子（野外学習会）

詳細は Web ページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/press-release/2023morizeikikakubosyu.html>)



森と緑 環境活動

検索

環境活動推進課 調整・環境配慮行動グループ
電話 052-954-6241（ダイヤルイン）

環境調査センター研究発表会を開催します



愛知県環境調査センターでは、県の環境行政を科学的・技術的に支える機関として調査研究を実施しています。その研究成果を広く発信するため、研究発表会を開催します。参加費は無料です。是非ご参加ください。

1 開催日時 3 月 7 日（火）13：30～16：20

2 会場 環境調査センター 第 1 会議室
（名古屋市北区辻町字流 7-6）

3 定員 60 名（申込先着順）



過去の研究発表会の様子

4 申込方法

「6 申込先・問合せ先」の Web ページから参加申込書をダウンロードし、必要事項をご記入の上、E メールでお申し込みください。

5 申込期限 2 月 28 日（火）まで

6 申込先・問合せ先

環境調査センター 企画情報部

E メール：kankyo-c@pref.aichi.lg.jp

電話：052-910-5486

詳細は Web ページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/press-release/r4happyoukai-boshu.html>)



愛知県環境調査センター 研究発表会

検索

環境調査センター 企画情報部

電話 052-910-5486（ダイヤルイン）

2022 年度水質パトロール隊の 優秀グループが決定しました



愛知県では、小中学生の皆さんが中心となったグループが身近な川等の汚れ具合や水辺の生きものを調査することで、普段意識していない生活排水や身の回りの水環境について考えていただく「水質パトロール隊」事業を行っています。

2022 年度は 40 グループ (1,198 名) の水質パトロール隊から調査レポートの提出があり、審査の結果、特に優れた活動を行った 5 グループを優秀グループに決定しました。

2022 年度水質パトロール隊優秀グループ

最 優 秀 賞 Love&Peace

優秀賞 (家庭部門) きよすキッズ水質パトロール隊

優秀賞 (学校等部門) 常盤^{とみわ}っ子わくわく水質パトロール隊

特別賞 (オリジナリティ賞) 春風システム

特別賞 (エコ・アクション賞) ^{アーキ} A-KI Family

最優秀賞及び優秀賞は知事表彰、特別賞は水大気環境課長表彰として、各々に表彰状を授与しました。

優秀グループのレポートはどれも調査方法やまとめ方が工夫されており、子どもたちの意欲あふれる素晴らしいレポートとなっています。

水質パトロール隊から提出された全てのレポートは Web ページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/mizutaiki/mizupato-index.html>)



水質パトロール隊

検索

水大気環境課 生活環境地盤対策室
三河湾環境再生グループ
電話 052-954-6220 (ダイヤルイン)

愛知県独自の「低炭素水素認証制度」に基づき 2021 年度の低炭素水素の製造実績を認証しました



愛知県では、低炭素な水素サプライチェーンの構築に向け、製造・輸送・利用に伴う CO₂ の排出が少ない水素を「低炭素水素」として認証・情報発信する本県独自の「低炭素水素認証制度」を 2018 年度に制定し、これまでに 6 件の事業計画を認定しています。

この 6 件のプロジェクトについて、2021 年度における低炭素水素の製造実績を 2023 年 1 月 23 日に認証しました。

1 年間の低炭素水素製造量の合計は燃料電池自動車約 4,200 台分の燃料に相当し、CO₂ 削減効果は一般家庭約 120 世帯分の年間 CO₂ 排出量に相当します。

今後も、低炭素水素サプライチェーンの事業化に取り組み、水素社会の実現を目指します。

詳細は Web ページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/press-release/teitansosuisoninsyou2021.html>)



[2021 年度低炭素水素製造量]

プロジェクト名	申請者	低炭素水素製造量 (m ³ N-H ₂)
知多市・豊田市再エネ利用低炭素水素プロジェクト	トヨタ自動車(株)	174,050
セントレア貨物地区水素充填所プロジェクト	(株)鈴木商館	22,956
豊田自動織機高浜工場再エネ利用低炭素水素プロジェクト	(株)豊田自動織機等	29,443
元町工場太陽光水電解水素ステーションプロジェクト	トヨタ自動車(株)	776
大口第 2 部品センター太陽光水電解水素ステーションプロジェクト	トヨタ自動車(株)	31,094
東邦ガス水素ステーション豊田市産他再エネ価値利用水素供給プロジェクト	東邦ガス(株)	958
合計		259,277

地球温暖化対策課 活動支援グループ
電話 052-954-6887 (ダイヤルイン)

愛知県気候変動適応センターだより（2月号）



○「愛知県気候変動適応計画」の改定について

愛知県は、国の「気候変動適応計画」の改定を踏まえ、2022年12月に「あいち地球温暖化防止戦略2030（改定版）」の策定に合わせて「愛知県気候変動適応計画」を改定しました。

改定の主なポイントを紹介します。

1 県の気候の状況と将来予測の更新

気候の状況（年平均気温、降水量、真夏日日数等の経年変化）及び将来予測について、最新のデータ（2021年度）に更新しました。

更新データの例

名古屋地方気象台で観測された年平均気温は、 $2.2^{\circ}\text{C}/100\text{年}$ の上昇傾向がみられる（これまでは $2.1^{\circ}\text{C}/100\text{年}$ ）

2 気候変動影響の分野・項目別の評価の見直し

計画的・効果的に適応策を推進していくため、県が重視すべき気候変動影響の分野・項目について、国の「気候変動適応計画」を踏まえて、評価を見直しました。

県の評価の主な変更点

分 類			県の評価
分 野	大項目	小項目	
農業・林業・水産業	農業	野菜（花きを含む）	重大性「一」→「◇」 緊急性「△」→「○」
	林業	木材生産（人工林等）	確信度「□」→「△」
	水産業	増養殖業	確信度「□」→「△」
水環境・水資源	水環境	河川	緊急性「□」→「△」
	水資源	水供給（地表水）	確信度「△」→「○」
自然生態系	陸域生態系	野生鳥獣の影響	確信度「一」→「□」
自然災害・沿岸域	山地（土砂災害）	土石流・地すべり等	確信度「△」→「○」
健康	感染症	水系・食品媒介性感染症	重大性「一」→「◇」 緊急性「一」→「△」 確信度「□」→「△」

評価の凡例 【重大性】○：特に大きい ◇：「特に大きい」とは言えない

一：現状では評価できない

【緊急性】○：高い △：中程度 □：低い 一：現状では評価できない

【確信度】○：高い △：中程度 □：低い 一：現状では評価できない

3 県の適応策等の追加

県の適応策として、愛知県気候変動適応センターが実施している情報提供や普及・啓発の状況について、内容を追加しました。

また、適応策の施策体系を踏まえて、本計画の進捗評価を行うため、2030年度までの取組指標（KPI）及び目標値を設定しました。



事業者対象のセミナー



自治体対象の気候変動影響・適応研究会



環境調査センター（常設展示）



三河湾大感謝祭（出展）

愛知県気候変動適応センターによる情報提供及び普及・啓発の状況

引き続き、県は、地球温暖化対策として、「あいち地球温暖化防止戦略2030（改定版）」に基づく温室効果ガスの排出削減に向けた取組（緩和策）と合わせて、本計画で定める「愛知県気候変動適応推進方針※」に基づく適応策を推進し、県民の皆さんの生活・財産を将来にわたって守るとともに、経済・社会の持続可能な発展を目指します。

※ 愛知県気候変動適応推進方針

- ① あらゆる施策に気候変動適応を組み込む
- ② 地域の実情に応じた適応策の推進
- ③ 県民、事業者等の理解を深め、各主体に応じた適応策を促進
- ④ 科学的知見に基づく適応策の推進

詳細はWebページから「愛知県気候変動適応計画」をご覧ください。

愛知県気候変動適応センター

検索

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyo-c/tekiou.html>)



環境調査センター 企画情報部
気候変動適応センター

電話 052-910-5489（ダイヤルイン）

「あいち環境塾」オープン講座の参加者を募集します



愛知県では、企業・団体・行政など各分野で活躍する持続可能な社会づくりのリーダーを育成するため2008年度から「あいち環境塾」を開講しています。

塾長に佐々木副知事、講師に資源循環、エネルギー等の分野の第一線で活躍される研究者等の方々を迎え、講義やディスカッションを通して持続可能な社会の形成という目標を共有する仲間づくりができるクリエイティブな場です。

これまでに16期、309名が卒塾し、企業、団体、行政など様々な分野で活躍されています。

2023年度の塾生募集（2023年3月募集開始予定）に先立ち、当塾をより多くの方に知っていただくため、塾の模擬体験ができるオープン講座を開催します。お気軽にご参加ください。

- 1 日時 3月4日（土）13:00～16:30
- 2 場所 名古屋商工会議所 3階第5会議室
- 3 対象 県内在住の方又は県内の企業、NPO、大学等に所属の方
- 4 定員 会場(40名)オンライン（定員なし、Zoom）
- 5 参加費 無料（通信費は自己負担）
- 6 主なプログラム

○ 講演会

「SDGsを羅針盤に企業の持続可能戦略を考える」

講師：（一財）中部SDGs推進センター 代表理事

と な り し ろ う 氏
戸成 司朗 氏



戸成 司朗 さん

○ 卒塾生による成果発表（2022年度卒塾生）

○ 会場参加者によるディスカッション

7 申込方法（締切：2月24日（金））

○ Web ページ

下記のURLからアクセスし、お申込みください。

(https://www.nisri.jp/chc/kankyojuku_ex-form.html)



○ Eメール

件名を【あいち環境塾オープン講座参加申し込み】とし、①氏名 ②住所（勤務先の場合は企業名も記入）③電話番号 ④参加方法（会場もしくはオンライン）の選択⑤メールアドレスを明記の上、お申込みください。

8 申込先・問合せ先

（公財）名古屋産業科学研究所

Eメール:kankyojuku@nisri.jp

電話：052-223-6639



あいち環境塾のチームディスカッション

あいち環境塾

検索

資源循環推進課 循環グループ

電話 052-954-6233（ダイヤルイン）

※ 掲載のイベントや講習会等は、新型コロナウイルス感染症などにより、内容を変更又は中止する場合があります。

愛知県環境情報紙「環境かわら版」

2023年2月6日発行(第321号)

編集・発行 愛知県環境調査センター
企画情報部

〒462-0032 名古屋市北区辻町字流 7-6
電話 052-908-5112(ダイヤルイン)

編集後記

2月4日に立春を迎え、暦の上では春となりました。とはいっても、まだまだ寒くて体も縮こまってしまうがちですね。体が冷えないように生姜入りのホットドリンクなどを飲んだり、軽いストレッチをするなどコツコツと温活をしながら春を待つのもいいかもしれません。

（企画・編集チーム）

※「環境かわら版」は、環境局Webページ「あいちの環境」<https://www.pref.aichi.jp/kankyo/>に掲載しています。

「あいちの環境」は右のQRコードからアクセスできます。

※ QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

掲載記事は広報紙等へ再掲していただきますようお願いします。

